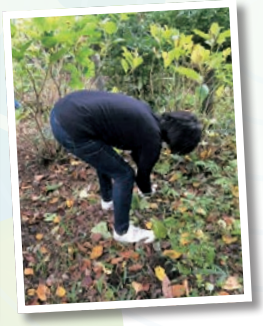
目指せ！1000株のあじさいプロジェクト

清瀬高校には約700株のあじさいが生息しており、毎年「あじさいウィーク」にて一般公開しています。従来PTAの1学年委員会を中心に剪定作業等を行ってきましたが、令和元年11月にあじさいを復活させる為のPTA新プロジェクトとして発足しました。

◆プロジェクト発足の経緯◆



昭和62年に110株だったあじさいは、平成３年には400株に、平成24年には約1000株まで増えました。（「創立40周年記念誌」より）その後は枯れてしまったあじさいもあり、令和元年には約700株を確認しました。

このあじさいを維持するため、また、清瀬市内スガハラ印刷さまより、貴重なシーボルトのあじさい〈オタクサ〉を寄贈いただける事となり、あじさいについて複数の造園会社に相談したところ、「雑草が根付きすぎて、あじさいの成長を圧迫している。」という事を皆さまから指摘されました。あじさいの剪定ではなく、土壌改善をしなければ、あじさいは枯れてしまうそうです。土壌改善とは、まず雑草を取り払うことから始まります。その後、時期や状況に応じて追肥や日当たり等の調整を行い、あじさい自身で栄養を摂れる環境にするのです。

この作業を造園業者に依頼した場合、莫大な資金が必要となります。この費用を、PTAは準備することができません。また、学校としても資金調達はとても難しく、先生や生徒たちの力を借りて除草作業を行うしかないという結論に達した藤原校長先生から「保護者の皆さまにも、除草のお手伝いをお願い出来ないか。」とのご相談がありました。

藤原校長先生の「清瀬高校創立50周年には、今よりも立派なあじさいを皆様に観ていただきたい。」という、強い思いを受け、PTA本部として出来る限りの協力をしていきたいと、『目指せ！1000株のあじさいプロジェクト』が発足しました。

そして、清瀬市内金子造園さまが「清瀬高校のために、PTAの皆さんが除草作業のボランティア活動をするのなら、私も無償で参加しましょう。」と手を挙げてくださいました。現在も、金子造園さまのご指導、ご協力をいただきながら、教職員・生徒・卒業生・保護者からボランティアを募り、毎月1回程度「目指せ！1000株のあじさいプロジェクト」活動を行っています。

～ スガハラ印刷さまから寄贈いただいた、シーボルトのあじさい〈オタクサ〉も元気に育っています ～

シーボルトのあじさい
《オタクサ》